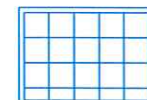


集水域毎の対策施設

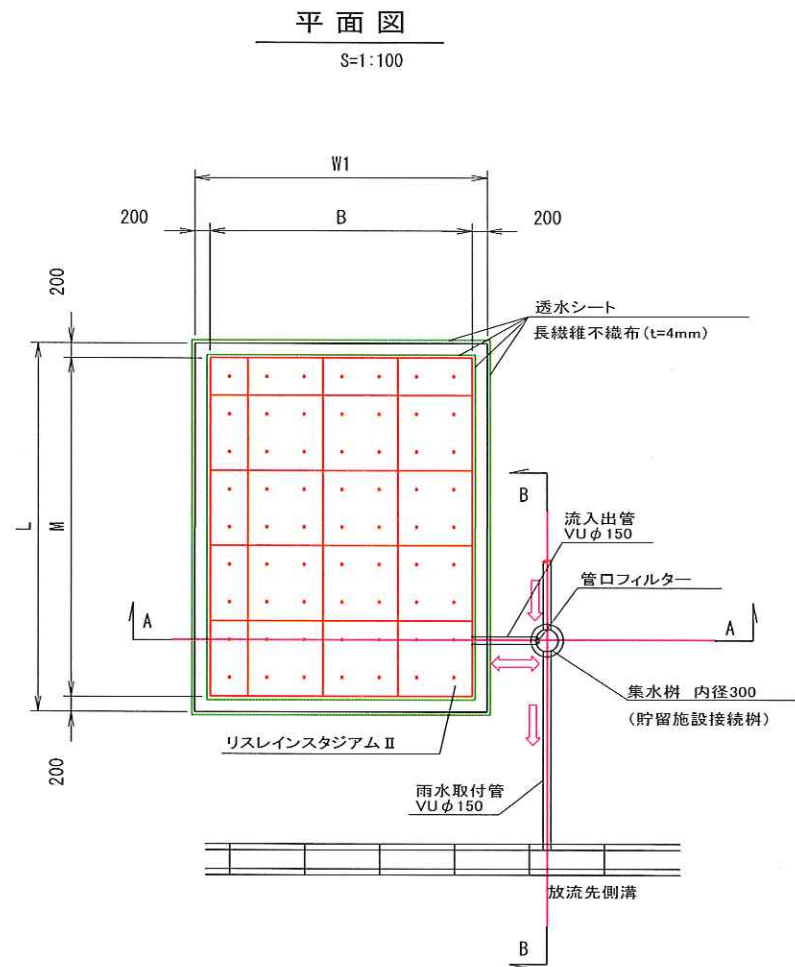
エリア名	面積	対策施設	タイプ
エリアA	138.79㎡	地下貯留浸透施設 V=14.56㎡	Aタイプ
エリアB	140.96㎡	地下貯留浸透施設 V=14.56㎡	Aタイプ
エリアC	147.51㎡	地下貯留浸透施設 V=16.38㎡	Bタイプ
エリアD	155.06㎡	地下貯留浸透施設 V=18.20㎡	Cタイプ
エリアE	146.56㎡	地下貯留浸透施設 V=16.38㎡	Bタイプ
エリアF	149.45㎡	地下貯留浸透施設 V=16.38㎡	Bタイプ
エリアG	161.63㎡	地下貯留浸透施設 V=18.20㎡	Cタイプ
エリアH	162.25㎡	地下貯留浸透施設 V=18.20㎡	Cタイプ
エリアI	146.35㎡	地下貯留浸透施設 V=16.38㎡	Bタイプ
エリアJ	147.95㎡	地下貯留浸透施設 V=16.38㎡	Bタイプ
エリアK	149.90㎡	地下貯留浸透施設 V=16.25㎡	Dタイプ
エリアL	17.60㎡	—	—
エリアM	37.21㎡	—	—
エリアN	52.38㎡	—	—
エリアO	60.10㎡	—	—
合計	1813.77㎡		

※地下貯留浸透施設は、砕石層を含まず、空隙率を乗じない値。
※建築の際、汚水排水は雨水排水と切り離し、公共下水道へ放流します。

凡 例

-  : 地下貯留信用施設 (リスレインスタジアムⅡ)
-  : 雨水最終樹・集水樹
-  : 側溝 (PU3-250)
-  : 表面排水勾配
-  : 現況高
-  : 計画高





正方形マス比浸透量
 $kf = (-0.204W^2 + 3.166W - 1.936) \times H + 1.345W^2 + 0.736W + 0.251$
H: 設計水頭 (m) W: 施設幅 (m)

正方形マスへの換算
 $(W1 \times L)^{0.5} = W(m)$

タイプ	幅: W1	長: L	A1: 碎石面積	W (m)	H: 設計水頭	kf: 比浸透量
Aタイプ	3.90	4.40	17.16m ²	4.142	1.14	35.128
Bタイプ	3.90	4.90	19.11m ²	4.371	1.14	38.291
Cタイプ	3.90	5.40	21.06m ²	4.589	1.14	41.412
Dタイプ	2.90	5.40	15.66m ²	3.957	1.40	34.58

地下貯留浸透槽 リスレインスタジアムⅡ 寸法

タイプ	幅: B	長: M	面積: A2	高: h	空体積(m ³)	空隙率(%)	有効貯留量(m ³)
Aタイプ	3.50	4.00	14.00m ²	1.04	14.56	95.00	13.832
Bタイプ	3.50	4.50	15.75m ²	1.04	16.38	95.03	15.566
Cタイプ	3.50	5.00	17.50m ²	1.04	18.20	95.05	17.299
Dタイプ	2.50	5.00	12.50m ²	1.30	16.25	94.43	15.345

特記事項

※ 透水性シートの設置箇所は雨水貯留浸透製品の底面、全周側面、天面の全面、碎石部は砂層との境界面、地山部との全周側面、碎石部天面とする。

プラ製地下貯留浸透槽および碎石部は透水性シートを巻くことで空隙貯留量をみており、また透水性シートによって土砂の侵入を防ぐ。

